

ELECOM

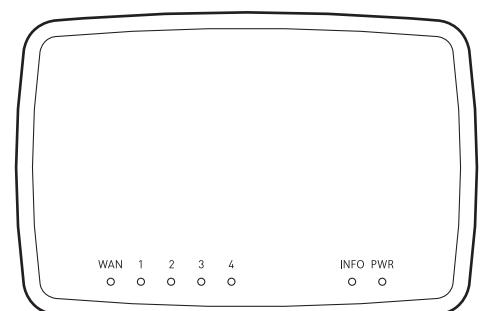
Broadband Router

100BASE-TX/10BASE-T 有線ブロードバンドルータ

BR-C-FEBK

User's Manual

導入時の基本的な手順は、製品に付属する
「かんたんセットアップガイド」等をお読み
ください。



エレコム株式会社

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	有線ブロードバンドルータ「BRC-FEBK」を称して「本製品」と表記しています。
有線クライアント	有線LAN機能または有線LANアダプタを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での(海外からの)保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようお願いいたします。
- Microsoft、Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

ELECOM

100BASE-TX/10BASE-T 有線ブロードバンドルータ

BRC-FEBK

User's Manual

ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、エレコムの100BASE-TX/10BASE-T 有線ブロードバンドルータをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての詳細な設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。詳細な設定をおこなう場合は、必ずこのマニュアルをお読みになってください。

本製品の基本的な導入手順については、付属の印刷物による各種説明書をお読みください。

安全にお使いいただくために

本マニュアルでは製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全にお使いいただくために」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警 告 この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
	注 意 この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

	丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。
	塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。



警 告



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちにパソコンの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。

感電、火災、故障の原因となります。



製品には、ACアダプタまたは電源コードが同梱されています。

製品に同梱されているACアダプタまたは電源コードは、他の電子機器では使用しないでください。仕様の違いにより、火災・故障の原因となります。



水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。

感電・火災の原因となります。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

ACアダプタまたは電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



ACアダプタまたは電源コードを大切に。

ACアダプタまたは電源コードのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電／火災の原因となります。

⚠ 注意

- 🚫 ACアダプタまたは電源コードのコードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本もの延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。
- 🚫 ACアダプタまたは電源コードのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。
- 🚫 通気孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。
- 🚫 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 🚫 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。
- 🚫 ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

もくじ

安全にお使いいただくために	4	ステータス画面	65
		設定保存と復元画面	67
		パスワード設定画面	69
7 フームウェアのアップデート	70	最新ファームウェアの自動更新機能	71
		手動でファームウェアを更新する	75
Chapter 1 導入編	9	Appendix 付録編	79
1 製品の保証について	10	1 サービス情報サイト使用時の設定	80
2 サポートサービスについて	11	2 こんなときは	82
3 このマニュアルをお読みになる前に	12	3 パソコンのIPアドレスの確認方法	83
4 本製品の概要について	13	パソコンのIPアドレスを表示する	83
本製品の特長	13	工場出荷時での表示結果	86
本製品の動作環境	14		
5 各部の名称とはたらき	15	4 基本仕様	87
6 設定ユーティリティについて	17		
7 作業をおこなう前に	19		
接続事業者との契約状況を確認する	19		
設定に必要なプロバイダ情報を用意する	20		
Chapter 2 接続編	23		
1 本製品を設置する	24		
接続の準備をする	24		
本製品を接続する	26		
2 ウィザードを使ったセットアップ	28		
設定ユーティリティを表示する	28		
インターネット接続設定ウィザードで			
セットアップする	31		
Chapter 3 詳細設定編	35		
1 設定ユーティリティ画面について	36		
設定ユーティリティ画面を表示する	36		
設定ユーティリティ画面の内容	38		
2 インターネット設定	39		
3 WAN&LAN設定	40		
LAN設定画面	40		
固定DHCP設定画面	41		
WAN設定画面	44		
DDNS画面	51		
4 LED省電力機能の設定	53		
5 ファイアウォールの設定	54		
アクセスコントロール画面	54		
ポートフォワーディング画面	57		
URLフィルタリング画面	60		
DMZ設定画面	62		
QoS画面	63		
6 システム設定	65		

Chapter 1

.....

導入編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

販売店発行のレシートまたは保証シールに記載されている購入日より1年間、本製品を本保証規定に従い無償修理することを保証いたします。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については個装箱に記載の保障規定をご確認ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、個装箱に記載の保障規定をご確認ください。

●その他のご質問などに関して

P11 「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

詳細は…
サポートポータルサイト「えれさぽ」へ



エレコム・ネットワークサポート(ナビダイヤル)

TEL : 0570-050-060

受付時間：月曜日～土曜日 10:00～19:00 (祝日営業)

※ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

ネットワークサポートにお電話される前に
お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・弊社製品の型番
- ・インターネットに関するプロバイダ契約の書類
- ・ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

3 このマニュアルをお読みになる前に

本製品には、印刷物で「かんたんセットアップガイド」「製品情報/サポートガイド」2つのマニュアルが付属しています。各マニュアルには、以下の内容が記載されています。該当する内容がありましたら、そちらをお読みください。

●「セットアップガイド」のおもな内容

- ・本製品をインターネット機器(終端装置)に接続する手順。
- ・Windowsパソコンからインターネットへ接続する方法。
- ・FAQ(困ったときは)。
- ・本製品を活用するためのヒント。

●「製品情報」のおもな内容

- ・本製品の各部の名称とはたらき。
- ・本製品の基本情報。
- ・工場出荷時における設定値および基本仕様。
- ・注意事項。
- ・FAQ(困ったときにお読みください)。
- ・サポートサービスのご案内。

※マニュアルの改訂により、内容の一部が変更される場合があります。

MEMO

印刷物のマニュアルが見当たらない場合

エレコム・ホームページのサポートページより、最新のPDF版をダウンロードすることができます。

●ユーザーズマニュアルの内容について

ユーザーズマニュアルは、基本的に印刷物のマニュアルに記載されていない内容について説明しています。詳しくは「もくじ」および内容をご覧ください。

- ・Web版の設定ユーティリティのウィザード機能を使って、パソコンからインターネットへ接続する方法。
- ・Web版の設定ユーティリティに搭載された機能の詳細な説明。

4 本製品の概要について

本製品の特長

●FTP実測値98.8Mbpsの高速スループットを実現

100BASE-TXに対応し、FTP実測値98.8Mbps(※理論値)の高速スループットを実現する有線LANルータです。リーズナブルながら、高い通信性能で光ファイバ、ADSL、ケーブルTVなどのインターネット回線に最適なモデルです。

●設定ツールでWindowsパソコンからのインターネット接続がさらに簡単

付属セットアップCDに含まれる「かんたんセットアップツール」を使用することで、Windowsパソコンからのインターネット接続設定が簡単にできます。PPPoE接続、DHCP接続、固定IP接続という標準的なインターネット接続回線の種別を自動判別し、適切な接続方法が自動的に設定される「おまかせ接続」です。回線をあらかじめ調べて、手動で選択する必要がありません。

●安心のセキュリティ機能とVPNマルチパススルーパス

初心者が安心してインターネットを楽しめるように、URLフィルタやMACアドレスフィルタなどのセキュリティ機能を搭載しています。また、VPN(IPSec、L2TP、PPTP)パススルーパスに対応していますので、オフィスや自宅からセキュリティ性の高い安全な通信が可能です。

●“イカロスマobileセキュリティ for Android”90日間特別体験版が付属

セキュリティアプリ“イカロスマobileセキュリティ for Android”90日間無料シリアルキーを添付し、最大3台まで登録可能です。スマートフォンなどのAndroid端末をウイルスから保護したり、紛失・盗難時の情報漏えいを防止することができます。※iOS搭載機器は対象外です。

●LEDランプを消灯できる「LED省電力モード」を搭載

本製品の消費電力を抑える「LED省電力モード」を搭載しました。省電力機能を「有効」にすると、PWR・INFOランプ以外のランプがオフになり、消費電力を抑えることができます。

●Webブラウザベースの設定ユーティリティを搭載

本製品の設定は、クライアントパソコンのWebブラウザ上から、本体に内蔵されたWebベースの設定ユーティリティを起動しておこないます。Webブラウザからの解りやすいメニューで操作できます。インターネット経由でのアクセスも可能です。

●IPv6 Bridge機能を搭載

さまざまなアプリケーションや音声映像を楽しめるIPv6サービスを利用できるように、「IPv6 Bridge」機能を搭載しています。設定をオフにすることもできます。

●特定の通信の帯域幅を確保できる「QoS」機能に対応

全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能に対応しています。この機能を使うことで、ストリーミング映像を楽しんでいるときに、他のサービスに帯域を取られて、映像が止まるというような心配がなくなります。複数のサービスに個別に帯域幅を割り当てることができます。

●バーチャルサーバ機能を搭載

ポート転送(ポートフォワーディング機能)を搭載しており、本製品に接続したパソコンを「バーチャルサーバ」としてインターネット経由で安全に公開できます。PPPoE接続など、IPアドレスが動的に変化する環境でも、ダイナミックDNS(クリアネット)サーバへの接続機能を備えていますので、IPアドレスの変更なく運用が可能です。

●UPnPに対応

UPnP (Universal Plug and Play)に対応しています。Windows MessengerなどのUPnP対応ソフトが特別な設定をせずに利用可能なほか、UPnP対応ネットワーク機器との組み合わせで本製品を自動的に認識、設定できます。ネットワークゲームを安心して利用できるDMZ機能も備えています。

●その他、豊富な機能を搭載

- NTP (Network Time Protocol) サーバを自動検出して時刻を自動設定
- フームウェアが設定ユーティリティから簡単にアップデート可能

本製品の動作環境

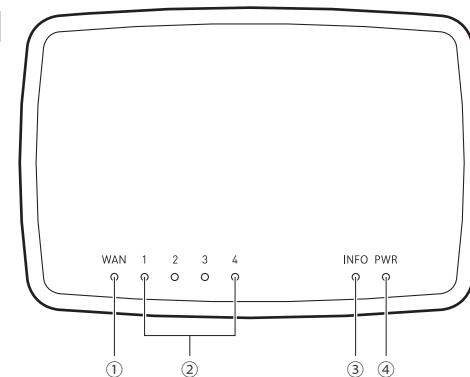
ルータ機能については、TCP/IPプロトコルを利用できるOSであれば使用できます。ただし、弊社では次の環境のみサポートしています。

また、Webベースの設定ユーティリティを採用していますので、本製品の設定にはWebブラウザが必要になります。

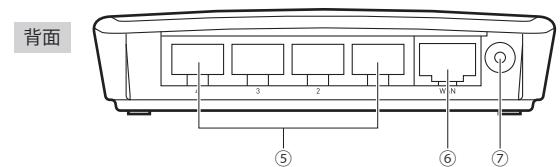
対応機種およびOS	Windows 8.1/8/7/Vista/XP (SP3～)を搭載するWindowsマシン Mac OS X (10.9/10.8/10.7/10.6/10.5/10.4)をインストールしたIntel製CPUを搭載したMac
Webブラウザ	Internet Explorer 5.5以降、Safari 6.0.3以降

5 各部の名称とはたらき

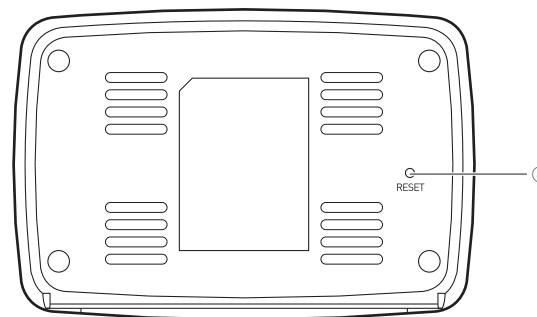
上面



番号	名称	はたらき
①	WAN ランプ(青色)	点灯：WAN側機器とのリンクが確立しています。 消灯：ケーブル未接続の状態です。
②	LAN ランプ(青色)	点灯：有線LAN接続のパソコンやネットワーク機器とリンクが確立しています。 消灯：ケーブル未接続の状態です。
③	INFO (お知らせ) ランプ(赤色)	点灯：WAN側のIPアドレスを取得できていない状態です。インターネットには接続できません。 点滅：アップデート可能なファームがサーバ上にあります(ファームウェアのアップデート通知機能が有効な場合のみ)。またアップデート作業中や初期化中も点滅します。
④	PWR (パワー) ランプ(青色)	点灯：本製品の電源が入った状態です。 消灯：本製品の電源が切れた状態です。



背面



底面

番号	名称	はたらき
⑤	LAN ポート	パソコンやネットワーク機器を、有線 LAN で本製品に接続するためのポートです。
⑥	WAN ポート	各種モデム (ONU、CTU など) の WAN (インターネット) 側機器からのケーブルを接続します。
⑦	DC IN (電源ジャック)	本製品に付属の AC アダプタを接続します。本製品に付属以外の AC アダプタを接続しないようにしてください。
⑧	RESET ボタン	このボタンを 10 秒以上押した後に離すと、INFO ランプが点滅し、本製品の設定値が初期化されます (工場出荷時の状態に戻ります)。INFO ランプ点滅中は、電源を切らないでください。

6

設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Web ブラウザから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティの [ホーム] に表示されるボタンの内容を説明します。各ボタンの詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

MEMO

設定ユーティリティを使用するには

設定ユーティリティをパソコンの Web ブラウザで表示するには、本製品とパソコンを有線 LAN で接続する必要があります。

設定ユーティリティの表示方法

P28 「設定ユーティリティを表示する」をお読みください。

ELECOM

ルータモードで動作しています。

BRC-FEBK

設定メニュー

- ▶ インターネット設定
- ▶ WAN & LAN 設定
- ▶ LED 省電力設定
- ▶ ファイアウォール設定
- ▶ QoS 設定
- ▶ システム設定

言語設定

言語設定 ▾

ステータス

本製品のシステム情報を表示します。

システム設定

稼働時間	0day 0h 4m 54s
ファームウェアバージョン	v1.00
動作モード	ルータモード
現在時刻	2014年2月24日 0時44分33秒

WAN 設定

IP アドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0

MAC アドレス

IP アドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCP サーバー	Enabled
MAC アドレス	00:0C:29:00:00:00

メニュー項目	内容
インターネット設定	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。(→P39)
WAN & LAN設定	有線LAN、WANの設定をします。LAN設定(→P40)、WAN設定(→P44)があります。
LED省電力設定	本製品のランプを消して消費電力を抑える「LED省電力モード」を選択できます。[LED省電力機能]で「有効」を選択すると、「LED省電力モード」になります。(→P53)
ファイアウォール設定	本製品にファイアウォール機能を設定できます。アクセスコントロール(→P54)、ポートフォワーディング(→P57)、URLフィルタリング(→P60)、DMZ(→P62)があります。
QoS設定	全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能を設定できます(→P63)。
システム設定	本製品を管理するためのメニューです。ステータス(→P65)、ファームウェア更新(→P70)、設定保存と読み込み(→P67)、パスワード設定(→P69)があります。

7

作業をおこなう前に

本製品と機器の配線作業をおこなう前に、以下について確認します。

接続事業者との契約状況を確認する

次の内容を確認してください。すでにルータを使わずにインターネットに接続できている場合は、①～③についての確認の必要はありません。

①回線事業者/プロバイダと契約は完了していますか？

回線事業者やプロバイダとの契約を完了しておく必要があります。また、フレッツサービスなどNTT西日本およびNTT東日本のサービスについては、別途プロバイダとの契約が必要です。

②終端装置は準備できていますか？

本製品でインターネットを楽しむためには、ケーブルテレビモデム、ONU、CTU、ADSLなどの終端装置と本製品を接続する必要があります。終端装置を別途購入されるように契約している場合は、対応する終端装置をご用意いただく必要があります。

③回線工事は完了していますか？

回線事業者/プロバイダとの契約に加え、屋内までの配線工事と終端装置の準備が完了している必要があります。すでに開通日を過ぎていることを確認してください。

④パソコン側の必要な機器は準備できていますか？

本製品の設定に使用するパソコンおよび本製品と接続するネットワーク機器には、有線LAN機能が搭載されている必要があります。各機器の有線LANポートが正常に動作するかご確認ください。

本製品は、DHCPサーバ機能を搭載していますので、パソコンには自動的にローカルIPアドレスが割り当てられます。パソコン側の「TCP/IPプロトコル」の設定は、ルータ側からIPアドレスが自動的に割り当てられるように、初期値では「自動取得」になっています。「手動設定」に変更されている場合は、「自動取得」に設定を変更してください。

設定に必要なプロバイダ情報を用意する

本製品のウィザード機能は、ご使用になるインターネット回線の種別を自動的に判別しますので、一般的なインターネットサービスをご使用の場合は、あらかじめ回線の種別などを調べておく必要はありません。

ただし、NTTフレッツサービスなどPPPoE接続を使用している場合は、プロバイダから提供されるユーザーIDとパスワードが必要になることがあります。また、固定IPサービスなど特別なインターネットサービスをご利用の場合は、あらかじめ必要な情報をご用意ください。

MEMO

プロバイダの情報について

ご契約のプロバイダによっては、ここに説明した内容と異なる場合もあります。プロバイダ側の設定資料を参考に、本製品のインターネット接続の設定をしてください。

A PPPoE接続方式の場合

NTTフレッツサービスのうち「PPPoE接続」でインターネットに接続するプロバイダの場合は、ユーザーIDとパスワードが記載された資料がお手元に届いているはずです。記入欄にメモしてください。

項目	記入欄
接続方式	PPPoE
認証ID(ユーザ名)【接続ID】	
認証パスワード【接続パスワード】	

※プロバイダによって認証ID、認証パスワードの表記が異なることがあります。ユーザーIDに「@」が入っている場合は、プロバイダから提供された「ユーザー名」の後に、「@」と「プロバイダ識別子」を入力する必要があります。また、PPPoE接続でも、認証ID、認証パスワードが記述されておらず、入力が不要な場合があります。

MEMO

フレッツ光プレミアムなど、別途ルータ機能が用意されている場合

プロバイダから提供されている終端装置に、ユーザーID、パスワードを設定しますので、本製品側での設定は不要です。

B DHCP接続方式の場合

DHCP接続を使用している場合は、自動的にインターネットへの接続を開始します。本製品のウィザードを使用すれば、インターネット回線種別を意識したり、設定作業をおこなうことなく自動的に接続します。

C 固定IPアドレスの場合

インターネット側のIPアドレス(グローバルIPアドレス)が固定で割り当てられるサービスです。あらかじめお手元にIPアドレス等の情報が書かれた資料をご用意ください。

Chapter 2

接続編

1 本製品を設置する

本製品をブロードバンドモ뎀などの終端装置と接続します。

接続の準備をする

1 作業の前に確認します。

□ Check 1

- インターネットサービスの契約が完了し、サービスが開始されていることを確認します。
 - プロバイダからの書類を用意します。
 - ご利用のインターネットサービスによっては、ユーザーIDとパスワード（※）を設定する必要があります。あらかじめ、プロバイダから提供された書類に、これらの記述がないかご確認のうえ、ご用意ください。
- ※プロバイダにより、認証ID/ユーザー名、認証パスワード/アクセスキーなど、名称が異なります。

□ Check 2

すでに終端装置とパソコンが接続されている場合

すでにルータを使わずにインターネットに接続している場合は、現在の環境でパソコンからインターネットに接続できているか確認します。



□ Check 3

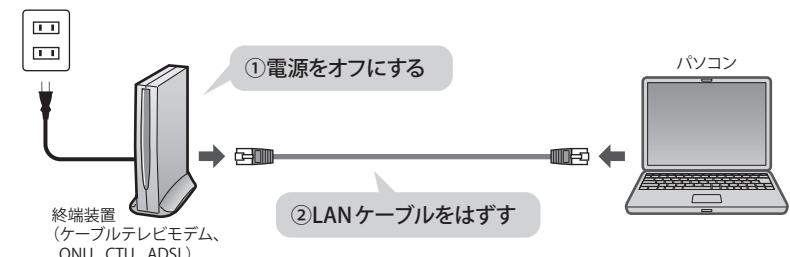
すでに使用中の有線/無線ルータから「お乗り換え」の場合の確認事項です。

- ご使用中のルータの設定プログラム（アプリケーション）は、すべて削除します。
- ルータをご使用でない場合でも、すでにインターネットをご利用の場合、パソコンに「接続ツール」等のプログラムがインストールされている場合があります。これらはすべて削除してください。

※ご不明な点がある場合は、お手持ちのルータのメーカーにお問い合わせください。

2 作業の前にご利用中の回線をいったんオフにします。

- ① 終端装置（ケーブルテレビモ뎀、ONU、CTU、ADSL）の電源を切ります。
 - ② パソコンと終端装置を接続したLANケーブルを外します。
 - ・ケーブルテレビモ뎀の場合、そのまま10分以上おいてください。
- ※ご契約の回線によっては、1時間以上おいておく必要があります。

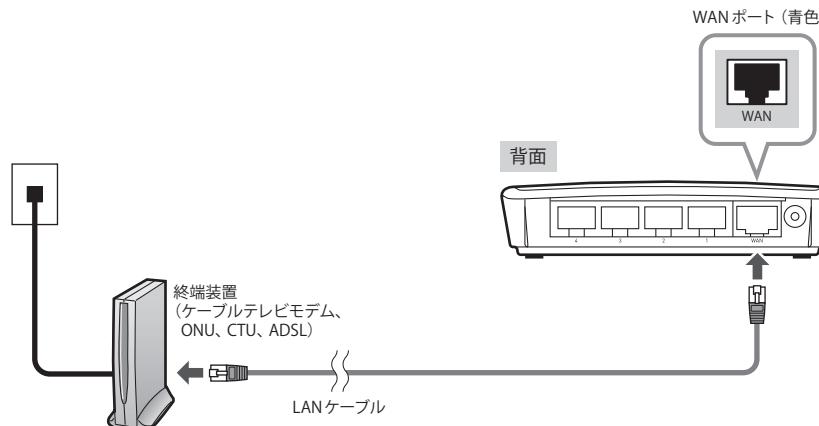


終端装置の電源をいったん切らないと、現在記憶されている接続情報がそのまま残り、本製品を接続したあとの新しい接続情報に更新されず、インターネットへの接続に失敗する恐れがあります。

本製品を接続する

1 機器を接続します。

- イラストを参考に、各機器を配線します。

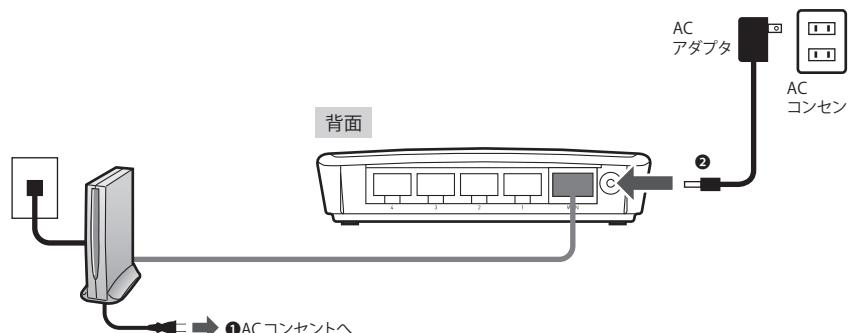


2 終端装置と本製品の電源を入れます。

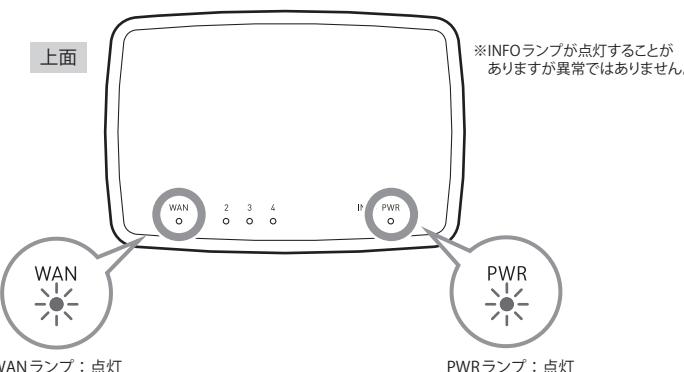
① 終端装置の電源ケーブルを接続します。

- 電源スイッチがある場合は、スイッチをオンにします。

② 本製品に付属のACアダプタを接続します。

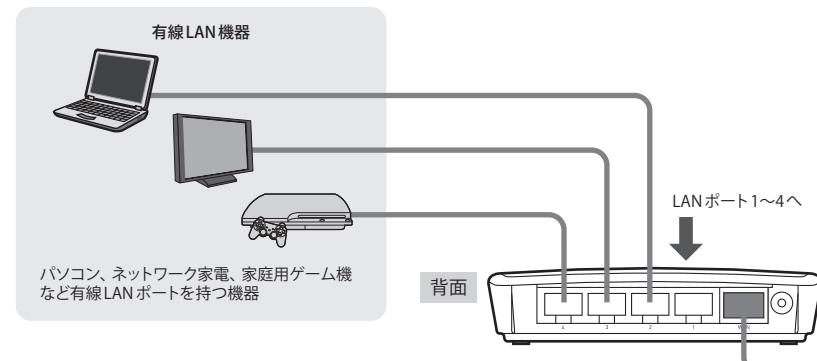


3 モデム等のランプおよび本製品のランプが正しく点灯していることを確認します。



4 本製品のLANポート(1~4のいずれか)と、有線接続のパソコンや他の有線LAN機器のLANポートを、LANケーブルで接続します。

- 4台まで有線LAN機器を接続できます。



MEMO 本製品には、LANケーブルは1本しか付属しません。不足分は別途ご用意ください。

5 次ページへ進みます。

2 ウィザードを使ったセットアップ

本製品と有線クライアントの接続が完了したら、インターネットに接続するための設定をします。

設定ユーティリティを表示する

本製品の設定ユーティリティは、パソコンからWebブラウザを使って表示します。

MEMO

パソコンはIPアドレスが自動取得になっている必要があります

このマニュアルでは、本製品のDHCPサーバ機能により、パソコンがIPアドレスを自動取得することを前提に説明しています。パソコンに固定のIPアドレスを設定している場合は、パソコンのIPアドレスを変更しなければならないことがあります。

本製品のIPアドレス(初期値) = 192.168.2.1

1 終端装置と本製品の電源が入っていることを確認してから、設定用のパソコンを起動します。

- 順序が逆の場合、パソコン側がIPアドレスを正常に取得できず、設定画面にアクセスできないことがあります。

2 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

3 Webブラウザの[アドレス]欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。



- このIPアドレスは初期値です。すでに本製品のIPアドレスを変更している場合は、変更後のIPアドレスを入力します。

4 認証画面が表示されます。



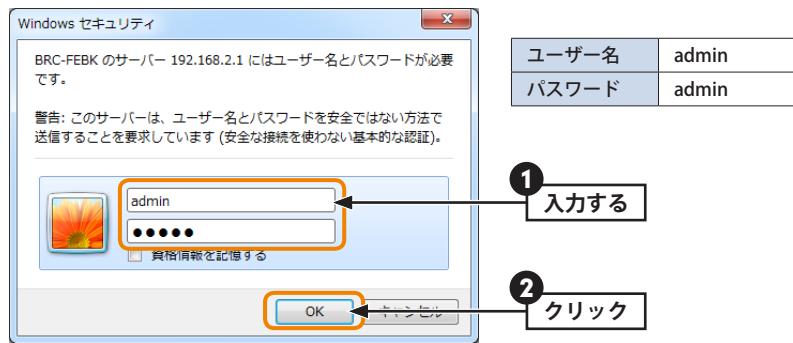
MEMO

認証画面が表示されない場合

以下の順序で確認してみてください。

- ①本製品の電源が入っているか、LANケーブルの接続は正しいかを確認してください。
- ②いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて3分以上たってからパソコンの電源を入れてください。
- ③接続しているパソコンのIPアドレスを確認してください(→P83「3. パソコンのIPアドレスの確認方法」)。

5 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- 次ページ「インターネット接続設定ウィザードでセットアップする」へ進みます。



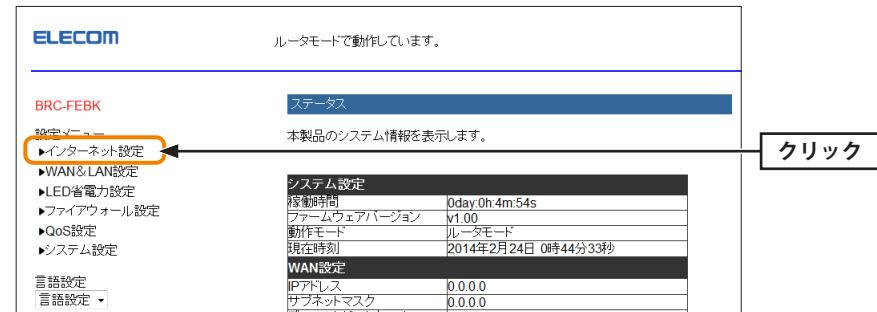
注意 パスワードについて

第三者に設定を変更されたり、悪用されないように、パスワードの変更を強くお勧めします(→P69「パスワード設定 画面」)。

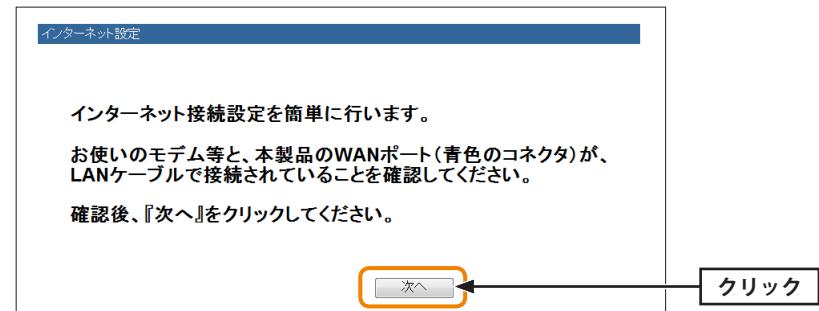
インターネット接続設定ウィザードでセットアップする

「インターネット接続設定ウィザード」を使って、セットアップする手順を説明します。

1 画面左のメニューリストから [インターネット設定] を選択します。



2 <インターネット設定>画面で [次へ] をクリックします。



- インターネット回線の種別の自動識別が始まります。

3 表示された画面にあわせて、次の説明へ進みます。

●自動的にインターネットへの接続確認が開始した場合(DHCP接続)

→手順 5 へ進みます。

●PPPoE回線の設定画面が表示された場合 →手順 4a へ進みます。

お使いの回線は PPPoE回線です。
ご契約のプロバイダ様から提供されている、
認証ID(ユーザー名)・認証パスワード(パスワード)を入力し、
『次へ』をクリックしてください。
ユーザー名は、 "@"以降も必ず入力する必要があります。

ユーザー名: (最大 57 文字)
パスワード: (最大 57 文字)

●固定IPの設定画面が表示された場合 →手順 4b へ進みます。

お使いの回線は、固定IP回線です。ご契約のプロバイダ様から提供されている、
IPアドレス情報を入力し、『次へ』をクリックしてください。
もし違う回線である場合は、配線が間違っている可能性があります。
『戻る』をクリックし、もう一度やり直してください。

固定IP:
サブネットマスク:
デフォルトゲートウェイ:

●本製品(有線ルータ)の上位にすでに別のルータが設置されている場合

→ 次へ をクリックして手順 5 へ進みます。

本製品の上位にもルータが設置されています。
ここでは、このまま『次へ』をクリックしてインターネットに接続します。

自宅サーバ等、高度なネットワーク技術を必要とする使い方をされる場合、本製品を
APモードに変更した方がより良い性能が発揮される場合があります。
通常のインターネット接続/ネットゲーム等のご利用の場合は、このままのモードで問題
ありません。



その他の画面が表示された場合

「インターネット接続に失敗しました・・・」「WANポートにLANケーブルが接続されていないようです。」などの画面が表示され、インターネットに接続できない場合は、以下のようなことが考えられます。

●ケーブル等が正しく接続されていない

ケーブル類が正しく接続されているか、機器の電源が入っているかなどを確認してください。機器の接続方法については、P24 「1. 本製品を設置する」をお読みください。

●インターネット回線種別を自動判別できない

接続先の終端装置やご使用の環境によって、まれに本製品の回線判別機能では、回線種別を自動的に判別できない場合があります。このような場合は、P44 「WAN設定画面」をお読みになり、DHCP/PPPoE/固定IPの中から、回線種別を選択したうえで、必要な設定をしてください。

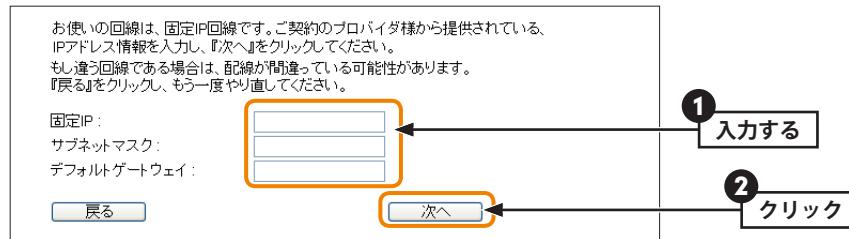
4a P20 「設定に必要なプロバイダ情報を用意する」でメモした内容をもとに必要な情報を入力し、次へ をクリックします。

お使いの回線は PPPoE回線です。
ご契約のプロバイダ様から提供されている、
認証ID(ユーザー名)・認証パスワード(パスワード)を入力し、
『次へ』をクリックしてください。
ユーザー名は、 "@"以降も必ず入力する必要があります。

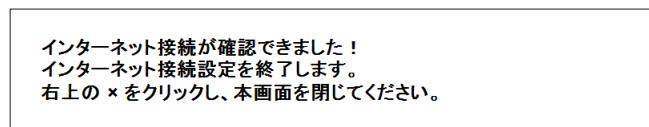
ユーザー名: (最大 57 文字)
パスワード:

1 入力する
2 クリック

ユーザIDに「@」が入っている場合
[ユーザー名]の入力において、プロバイダから提供された「ユーザー名」の後に、必ず「@」と「プロバイダ識別子」を入力してください。
(例) userid123@elecom.net
ユーザー名 プロバイダ識別子

4b あらかじめプロバイダから提供された情報を入力し、**次へ**をクリックします。

5 インターネットに接続できるか自動的に確認します。その後、インターネットに正常に接続できると、以下の画面が表示されます。



- 画面右上の  をクリックしてブラウザ画面を閉じます。

6 これでインターネットへの接続作業は完了です。

Chapter 3

詳細設定編

1 設定ユーティリティ画面について

本製品の各種機能を設定するには、パソコンからWebブラウザを使って、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。ここでは、簡単に本製品の設定ユーティリティに接続する方法を説明します。

設定ユーティリティ画面を表示する

1 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

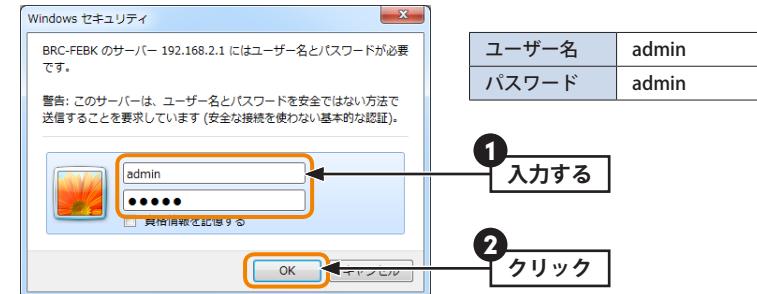
2 Webブラウザの[アドレス]欄に、キーボードから「<http://192.168.2.1>」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。



MEMO 認証画面が表示されない場合

パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IPアドレスが正しく取得できないため接続できことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待ってから、パソコンの電源を入れてください。

3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。



- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。



第三者に設定を変更されたり、悪用されないように、パスワードの変更を強くお勧めします(→P69「パスワード設定画面」)。

設定ユーティリティ画面の内容

設定ユーティリティにある各画面の概要を説明します。



メニュー項目	内容
インターネット設定	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。(→P39)
WAN & LAN設定	有線LAN、WANの設定をします。LAN設定(→P40)、WAN設定(→P44)があります。
LED省電力設定	本製品のランプを消灯して消費電力を抑える「LED省電力モード」を選択できます。[LED省電力機能]で「有効」を選択すると、「LED省電力モード」になります。(→P53)
ファイアウォール設定	本製品にファイアウォール機能を設定できます。アクセスコントロール(→P54)、ポートフォワーディング(→P57)、URLフィルタリング(→P60)、DMZ(→P62)があります。
QoS設定	全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能を設定できます(→P63)。
システム設定	本製品を管理するためのメニューです。ステータス(→P65)、ファームウェア更新(→P70)、設定保存と読み込み(→P67)、パスワード設定(→P69)があります。

2 インターネット設定

インターネットに接続するために必要な設定をおこなう画面です。インターネット接続設定ウィザードの操作手順は、[P31「インターネット接続設定ウィザードでセットアップする」](#)をお読みください。

画面の表示

画面左のメニューリストから[インターネット設定]を選択します。

インターネット設定

インターネット接続設定を簡単に行います。

お使いのモードム等と、本製品のWANポート(青色のコネクタ)が、LANケーブルで接続されていることを確認してください。

確認後、『次へ』をクリックしてください。

次へ

3

WAN&LAN 設定

有線のLANポートおよびWANポートに関する設定などをします。

LAN設定 画面

本製品のLAN(ローカルネットワーク)側のIPアドレス情報等を設定します。

画面左のメニューリストから[WAN&LAN設定]→[LAN設定]を選択します。

LAN設定

本製品のLAN設定を行います。

IPアドレス:	192.168.2.1
サブネットマスク:	255.255.255.0
DHCP範囲:	192.168.2.100 - 192.168.2.200
DHCPリース時間:	480 (1 ~ 10080 minutes)

MEMO 設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず[適用]をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は[戻る]を、変更した内容をすぐに有効にする場合は[更新]をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

IPアドレス	本製品のLAN側のIPアドレスです。 初期値は「192.168.2.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。 初期値は「255.255.255.0」です。
DHCP範囲	DHCPサーバ機能を利用する場合、DHCPサーバがクライアントに自動的に割り付けるIPアドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントにIPアドレスが自動的に割り当てられます。 [接続端末の表示]をクリックすると、接続中のDHCPクライアントのリストが別ウインドウで表示されます。

DHCPリース時間

DHCPサーバによりクライアントに割り当てられるIPアドレスのリース時間を設定します。1分～10080分までの範囲で設定できます。初期値は480分です。指定時間を過ぎるとDHCPサーバよりIPアドレスを再取得します。

固定DHCP設定 画面

DHCPサーバ機能を有効にしている場合、クライアントには自動的にIPアドレスが割り当てられます。しかし、クライアントのネットワーク機器によっては、特定のIPアドレスを割り当てたい場合があります。クライアントのMACアドレスと指定したいIPアドレスを関連付けて登録することができます。

画面左のメニューリストから[WAN&LAN設定]→[LAN設定]→[固定DHCP設定]を選択します。

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。登録できる端末は、最大20です。

■ 固定DHCPの有効

IPアドレス:	(記入例: 192.168.2.100)
MACアドレス:	(記入例: 0090fe0123ab)
コメント:	(最大19文字、半角英数のみ)

■ 固定DHCPリスト:

IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
<input type="button" value="選択して削除"/>	<input type="button" value="全てを削除"/>		<input type="button" value="適用"/>

MEMO 設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず[適用]をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は[戻る]を、変更した内容をすぐに有効にする場合は[更新]をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

固定DHCPの有効	この項目をチェックしている場合に、固定DHCPリストの内容が有効になります。チェックしていない場合は、リストに登録されてもIPアドレスは固定されません。
IPアドレス	クライアントに割り当てるIPアドレスを入力します。
MACアドレス	IPアドレスを固定するクライアントのMACアドレスを入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●固定DHCPリスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

追加	リストに新たにIPアドレスを固定するクライアントを追加します。
選択して削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。
全てを削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。

固定DHCPの設定

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。登録できる端末は、最大 20 です。

固定DHCPの有効

IPアドレス:	192.168.2.131 (記入例: 192.168.2.100)
MACアドレス:	123456789012 (記入例: 0090fe0123ab)
コメント:	sales-team01 (最大19文字、半角英数のみ)

追加

固定DHCPリスト:

IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
選択して削除	全てを削除		適用



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [戻る] を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [更新] をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

- ① [固定DHCPの有効]をチェックします。
- ② クライアントに割り当てるIPアドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.131
- ③ クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 123456789012
- ④ 必要に応じて[コメント]に、コメントを入力します。
- ⑤ [追加]をクリックします。固定DHCPリストにクライアントが追加されます。
- ⑥ 登録するクライアントが複数ある場合は、②～⑤を繰り返します。

WAN設定 画面

本製品のWAN(インターネット)側の設定をします。[WANアクセスタイル]で、DHCP・PPPoE・PPPoEマルチセッション・固定IPのいずれを選択するかで、設定画面が異なります。

画面の表示

画面左のメニューリストから[WAN&LAN設定]→[WAN設定]を選択します。

●「DHCP」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイル (最大 30 文字)

ホスト名: (最大 30 文字)

MTUサイズ: (1400-1492 バイト)

DNSサーバのアドレスを自動的に取得する

次のDNSサーバを使用する

DNS 1: (記入例: 192.168.5.44)

DNS 2: (記入例: 192.168.5.43)

MACアドレスコピー: 接続中のPCからMACアドレスをコピー

UPnPを有効にする

WAN側からのpingに対する応答を有効にする

IPv6 ブリッジを有効にする

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

ホスト名	ルータのホスト名を設定することができます。
MTUサイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1492)
DNSサーバのアドレスを自動的に取得する	プロバイダより自動的にDNSサーバのアドレスを取得する場合に選択します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。
次のDNSサーバを使用する	プロバイダからDNSサーバを使用するように指示があった場合に選択します。DNSが1個の場合は「DNS 1」に、2個の場合は「DNS 1」と「DNS 2」にアドレスを入力します。
DNS 1	プロバイダからDNSアドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS 2	プロバイダからDNSアドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリのDNSアドレスを入力します。
MACアドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使用します。 初期値では、接続中のパソコンのMACアドレスが表示されています。手動で上書きすることもできます。
UPnPを有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようになります。(初期値: 有効)
WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN(インターネット)側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。(初期値: 無効)
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値: 有効)。

●「PPPoE」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイル	PPPoE
ユーザー名:	UserID@elecom.ne.jp (最大 57 文字)
パスワード設定:	<input type="password"/> (最大 57 文字)
パスワードの表示:	<input checked="" type="checkbox"/>
MTUサイズ:	1452 (1360-1492 バイト)
デフォルトゲートウェイ:	<input type="text"/>
<input checked="" type="checkbox"/> UPnPを有効にする. <input type="checkbox"/> WAN側からのpingに対する応答を有効にする. <input checked="" type="checkbox"/> IPv6 ブリッジを有効にする.	
<input type="button" value="適用"/>	

MEMO **設定を変更した場合**
設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

ユーザー名	プロバイダより提供されたユーザー名を入力します。 ユーザーIDに「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 (例) userID123 @ elecom.net ユーザー名 プロバイダ識別子
パスワード設定	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。 [パスワードの表示]をオンにすると、入力したパスワードを表示できます。(初期値: オン)
MTUサイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1452)
デフォルトゲートウェイ	プロバイダから提供されたデフォルトゲートウェイを入力します。
UPnPを有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようになります。(初期値: 有効)
WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。(初期値: 無効)

IPv6 ブリッジを有効にする

プロバイダから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしておいてください。(初期値: 有効)

●「PPPoEマルチセッション」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイル	PPPoEマルチセッション
PPPoE 1:	ユーザー名: <input type="text"/> (最大 57 文字) パスワード設定: <input type="password"/> (最大 57 文字) パスワードの表示: <input checked="" type="checkbox"/> MTUサイズ: 1452 (1360-1492 バイト) デフォルトゲートウェイ: <input type="text"/>
PPPoE 2: NTTフレッツ東日本サービス用.	ユーザー名: guest@flets (最大 57 文字) パスワード設定: guest (最大 57 文字) パスワードの表示: <input checked="" type="checkbox"/> MTUサイズ: 1452 (1360-1492 バイト) デフォルトゲートウェイ: <input type="text"/>
<input checked="" type="checkbox"/> UPnPを有効にする. <input type="checkbox"/> WAN側からのpingに対する応答を有効にする. <input checked="" type="checkbox"/> IPv6 ブリッジを有効にする.	
<input type="button" value="適用"/>	

MEMO **設定を変更した場合**

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

PPPoE 1：通常接続用	
ユーザー名	プロバイダより提供されたユーザー名を入力します。 ユーザーIDに「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 (例) <u>userID123 @ elecom.ent</u> ユーザー名 プロバイダ識別子
パスワード設定	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。 [パスワードの表示]をオンにすると、入力したパスワードを表示できます。(初期値：オン)
MTU サイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値：1452)

PPPoE 2：NTT フレッツ東日本サービス用	
ユーザー名	プロバイダより提供されたユーザー名を入力します。 ユーザーIDに「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 (例) <u>userID123 @ elecom.ent</u> ユーザー名 プロバイダ識別子
パスワード設定	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。 [パスワードの表示]をオンにすると、入力したパスワードを表示できます。(初期値：オン)
MTU サイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値：1452)
デフォルトゲートウェイ	プロバイダから提供されたデフォルトゲートウェイを入力します。
UPnP を有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の装置を検出して、正常に認識できるようになります。(初期値：有効)
WAN 側からの ping に対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。(初期値：無効)
IPv6 ブリッジを有効にする	プロバイダから提供される IPv6 サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもらいません。(初期値：有効)。

●「固定 IP」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ	固定IP
固定IP:	172.1.1.1
サブネットマスク:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ:	172.1.1.254
MTUサイズ:	1500 (1400-1492 バイト)
DNS 1:	(記入例: 192.168.5.44)
DNS 2:	(記入例: 192.168.5.43)
MACアドレスコピー:	000000000000 接続中のPCからMACアドレスをコピー

UPnPを有効にする
 WAN側からのpingに対する応答を有効にする
 IPv6ブリッジを有効にする

適用

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [戻る] を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [更新] をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

固定IP	プロバイダから提供された情報を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTU サイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値：1500)
DNS 1	プロバイダから DNS アドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS 2	プロバイダから DNS アドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリの DNS アドレスを入力します。
MACアドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証を行うような CATV インターネット接続サービスで使用します。 初期値では、接続中のパソコンの MAC アドレスが表示されています。手動で上書きすることもできます。

UPnPを有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようになります。(初期値:有効)
WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。(初期値:無効)
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値:有効)。

DDNS 画面

DDNS (ダイナミックDNS) を利用すると、WAN側が固定IPアドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、ダイナミックDNSのサービス提供者に登録する必要があります。ダイナミックDNSはサービスリストに表示されるサービスでご利用いただけます。

MEMO

あらかじめDDNSサービスに登録しておいてください

DDNSサイトにアクセスしてユーザー登録し、ドメイン名やアカウントなどを取得してください。

DDNSサービスを利用するにあたって

- DDNSサービスへの登録については、弊社のサポート対象外となります。登録に関しては、一切責任を負いかねます。
- Clear-net (クリアネットサービス) とは、グループ会社ロジテックの対象製品をユーザ登録してご利用いただいている方に無償で提供されるダイナミックDNSサービスです。クリアネットサービスへの登録については、ロジテックのホームページで詳細をご確認のうえ、ご利用ください。
- DDNSサービスによっては、定期的に更新をしないと登録が削除されてしまうことがあります。登録の更新は、本製品がインターネットに接続されているときに自動的におこなわれるほか、手動で更新する場合もあります。更新期間などの詳細はご利用になるDDNSサイトをご覧ください。

画面の表示

画面左のメニューリストから[WAN&LAN設定]→[WAN設定]→[DDNS]を選択します。

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

DDNS	ダイナミック DNS を利用する場合は「有効」を選択します。
サービスプロバイダ	リストから登録したサービスを選択します。
ドメイン	登録したドメイン名を入力します。
ユーザ名ID	登録したアカウントを入力します。DDNS サービスによってはアカウントが E メールアドレスの場合があります。
パスワード	設定したパスワードを入力します。

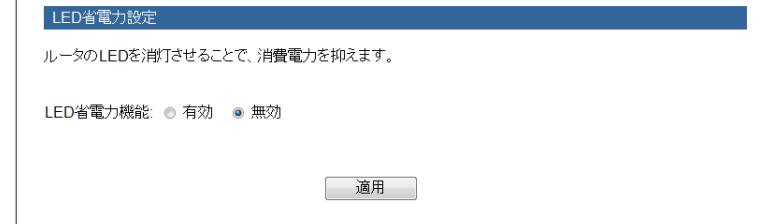
4

LED省電力機能の設定

「有効」を選択すると、PWR ランプ・INFO ランプ以外のランプがオフになり、消費電力を抑えることができます。

画面の表示

画面左のメニューリストから [LED省電力設定] を選択します。



MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [戻る] を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [更新] をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

LED省電力機能	「有効」を選択すると、PWR ランプ・INFO ランプ以外のランプを消灯して消費電力を抑える「省電力モード」になります。(初期値: 無効)
----------	---

5 ファイアウォールの設定

アクセスコントロール 画面

登録したMACアドレスを持つクライアントとだけ通信できるようにしたり、通信を拒否したりできます。第三者の不正アクセスを防止するのに役立ちます。

画面の表示 画面左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[アクセスコントロール]を選択します。

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず[適用]をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は[戻る]を、変更した内容をすぐに有効にする場合は[更新]をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

アクセスコントロール機能	アクセスコントロール機能の有効/無効を設定します。
コントロールモード	接続許可 : [アクセスコントロール]に登録したMACアドレスを持つクライアントだけが接続できます。 接続拒否 : [アクセスコントロール]に登録したMACアドレスを持つクライアントとの接続を拒否します。
MACアドレス	本製品への接続を許可または拒否するクライアントのMACアドレスを入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●アクセスコントロール

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。登録できるクライアント数は最大50です。

●各ボタンの機能

選択して削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。
全てを削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。

クライアントの登録

アクセスコントロール

特定の機器について、接続を許可する・許可しないを設定します。登録できる端末数は、最大 20 です。有線無線両方の機器が対象になります。また、"許可"と"拒否"を混在させる設定はできません。

アクセスコントロール機能: 有効 無効

【接続許可】: 設定した機器の接続を許可します。設定していない機器については接続することができません。

【接続拒否】: 設定した機器の接続を拒否します。設定していない機器は全て接続することができます。

コントロールモード: 接続許可

MACアドレス: 1234567890ab (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: sales-team05 (最大20文字、半角英数のみ)

追加

アクセスコントロール: **選択して削除** 全てを削除

MACアドレス コメント ステータス 選択

適用

- ① [アクセスコントロール機能]で[有効]を選択します。
- ② [コントロールモード]で[接続許可]または[接続拒否]を選択します。
- ③ クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 1234567890gh
- ④ 必要に応じて[コメント]に、クライアントを区別するための名称など、コメントを入力します。
- ⑤ [追加]をクリックします。設定したクライアントが[アクセスコントロール]のリストに表示されます。
- ⑥ 登録するクライアントが複数ある場合は、②～⑤を繰り返します。

ポートフォワーディング 画面

ポート転送(ポートフォワーディング)機能を設定します。通常NAT変換を利用するルータでは、WAN(インターネット)側からLAN上のコンピュータにアクセスすることはできませんが、この機能を利用することで、LAN上にある指定されたコンピュータをWAN側に開放することができます。



この機能を利用する場合で本製品のDHCPサーバ機能を有効にしているときは、P41「固定DHCP設定画面」で、ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを固定するようにしてください。DHCPサーバ機能により動的にIPアドレスが変更されると、意図しないコンピュータがWAN側に開放される恐れがあります。



画面左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[ポートフォワーディング]を選択します。

ポートフォワーディング

特定ポートの通信について、転送先の設定を行います。設定できる登録数は、最大 3 です。

ポートフォワーディング: 有効 無効

ローカルIPアドレス タイプ ポート コメント

両方 最大20文字、半角英数のみ

追加

ポートフォワーディング設定リスト:

ローカルIPアドレス コメント タイプ ポート 選択

選択して削除 全てを削除 適用



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず[適用]をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は[戻る]を、変更した内容をすぐに有効にする場合は[更新]をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

ポートフォワーディング	ポートフォワーディング機能の有効/無効を設定します。(初期値:無効)
ローカルIPアドレス	ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを入力します。
タイプ	プロトコルのタイプを選択します。(初期値:両方)
ポート	インターネット側から見た送信先のポート番号を入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●ポートフォワーディング設定リスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。登録できるクライアント数は最大3です。

●各ボタンの機能

選択して削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。
全てを削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。

ポートフォワーディングの設定

ポートフォワーディング

特定ポートの通信について、転送先の設定を行います。設定できる登録数は、最大 3です。

ポートフォワーディング:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	ローカルIPアドレス	タイプ	ポート	コメント
		192.168.2.180	両方		
最大20文字、半角英数のみ					
追加					

ポートフォワーディング設定リスト:

ローカルIPアドレス	コメント	タイプ	ポート	選択
				適用
選択して削除				全てを削除

- ① [ポートフォワーディング]で[有効]を選択します。
- ② [ローカルIPアドレス]に対象となるクライアントのIPアドレスを入力します。
「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.131
- ③ [タイプ]でプロトコルのタイプを選択します。
- ④ [ポート]に対象となるポート番号を入力します。
- ⑤ 必要に応じて[コメント]に、コメントを入力します。
- ⑥ [追加]をクリックします。登録したクライアントが[ポートフォワーディング設定リスト]に表示されます。
- ⑦ 登録するクライアントが複数ある場合は、②～⑥を繰り返します。

URL フィルタリング 画面

特定のWebサイトのURLを設定することで、ホームページの閲覧を拒否することができます。

画面左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[URL フィルタリング]を選択します。

URL フィルタリング

特定の文字列を含む URLへのアクセスを制限する設定を行います。 設定できる登録数は、最大 5 です。

URL フィルタリング: 有効 無効

フィルタする文字列
(最大20文字、半角英数のみ)

追加

URL フィルタ対象文字列リスト:

文字列 選択
選択して削除 全てを削除 適用

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [戻る] を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [更新] をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

URL フィルタリング	URL フィルタリング機能の有効/無効を設定します。(初期値: 無効)
フィルタする文字列	接続を拒否するWebサイトのURLに含まれる文字列を入力します。

●URL フィルタ対象文字列リスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録した文字列の情報を削除する場合にチェックします。登録できる文字列の数は最大5です。

●各ボタンの機能

選択して削除	[選択]をチェックした文字列をリストから消去します。
全てを削除	リストの文字列の設定をすべて消去します。

URL フィルタリングの設定

URL フィルタリング

特定の文字列を含む URLへのアクセスを制限する設定を行います。 設定できる登録数は、最大 5 です。

URL フィルタリング: 有効 無効

フィルタする文字列
adult
(最大20文字、半角英数のみ)

追加

URL フィルタ対象文字列リスト:

文字列 選択
選択して削除 全てを削除 適用

- 1 [URL フィルタリング] で [有効] を選択します。
- 2 [フィルタする文字列] に対象となる Web サイトの URL に含まれる文字列を入力します。
- 3 [追加] をクリックします。登録した文字列が [URL フィルタ対象文字列リスト] に表示されます。
- 4 [適用] をクリックします。
- 5 登録する文字列が複数ある場合は、②～④を繰り返します。

DMZ設定 画面

通常、NAT変換を利用するルータでは、WAN(インターネット)側からLAN上のパソコンにアクセスすることはできません。DMZ機能を使用すると、指定した端末にWAN側からアクセスできるようになります。これにより、LAN上からは通常使用できない双方向通信を利用したサービスを利用できます。



設定をおこなう前に、接続先の端末がセキュリティ設定済みであるか、確認してください。



画面左のメニュー リストから [ファイアウォール設定] → [DMZ] を選択します。

DMZ設定

通信パケットの転送先を設定します。
本設定を行なう際には、転送先端末のセキュリティが確立されていることをご確認ください。

DMZ: 有効 無効

DMZ IPアドレス:

適用



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [戻る] を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [更新] をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

DMZ機能	DMZ機能の有効/無効を設定します。(初期値:無効)
DMZ IPアドレス	インターネット(外部)に公開するWAN側IPアドレスを入力します。 「.」で区切る必要があります。 例 192.168.2.131

QoS 画面

QoS (Quality of Service) は特定の通信について、あらかじめ使用する帯域を予約しておくことで、その通信の速度を保証する機能です。例えばストリーミングのように一定の転送速度が確保されないと実用的でないようなサービスを利用するときに有効です。



設定をおこなう前に、接続先の端末がセキュリティ設定済みであるか、確認してください。



画面左のメニュー リストから [QoS 設定] を選択します。

QoS

QoSの設定を行ないます(上級者向け)。
特定の通信に対し、一定以上の通信速度を確保します

QoS: 有効 無効

ダウンロード/アップロード帯域設定

ダウンロード帯域幅: 1 Mbps [1~30Mbps]
アップロード帯域幅: 1 Mbps [1~30Mbps]

特定通信に関する設定

通信方向: ダウンロード
上限 / 下限: 下限
帯域幅: 30 Mbps [1~30Mbps]
ローカルIPアドレス:
ポート範囲: - Ex: 10000 - 10100
プロトコル: TCP

適用



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [戻る] を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [更新] をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●QoS

QoS機能の有効/無効を設定します。(初期値:無効)

●ダウンロード/アップロード帯域設定

ダウンロード帯域幅	ダウンロードで確保する全体の帯域幅を選択します。(初期値: 1Mbps)
アップロード帯域幅	アップロードで確保する全体の帯域幅を選択します。(初期値: 1Mbps)

●特定通信に関する設定

通信方向	通信方向を選択します。ダウンロード、アップロード、または両方のいずれかを選択できます。(初期値: ダウンロード)
上限/下限	最大帯域(上限)か最低帯域保証(下限)かの設定をします。(初期値: 下限)
帯域幅	通信で確保する帯域幅を入力します。(初期値: 1Mbps)
ローカルIPアドレス	この帯域を適用するクライアントのIPアドレスを入力します。
ポート範囲	この帯域を適用するクライアントのローカルポート範囲を入力します。対象が1台の場合は左側だけに入力します。
プロトコル	使用するプロトコルをリストから選択します。(初期値: TCP)

6

システム設定

システム設定メニューでは、機器のステータス表示、設定の保存、設定の初期化(工場出荷時の状態に戻す)、パスワード設定、ファームウェアのアップデートなどができます。ファームウェアの更新については、P70「7. ファームウェアのアップデート」をお読みください。

ステータス画面

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

画面の表示

画面左のメニューリストから[システム設定]→[ステータス]を選択します。

ステータス

本製品のシステム情報を表示します。

システム設定	
稼働時間	0day.0h:50m:26s
ファームウェアバージョン	v1.00
動作モード	ルータモード
現在時刻	2014年2月24日 1時29分18秒
WAN設定	
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
MACアドレス	[REDACTED]
LAN設定	
IPアドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	Enabled
MACアドレス	[REDACTED]

●システム設定

稼働時間	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するときにリセットされます。
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
動作モード	現在選択中の動作モードを表示します。
現在時刻	本製品に内蔵された時計の現在の時刻を表示します。

●WAN設定

IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在のデフォルトゲートウェイを表示します。
MACアドレス	本製品のWAN側のMACアドレスを表示します。

●LAN設定

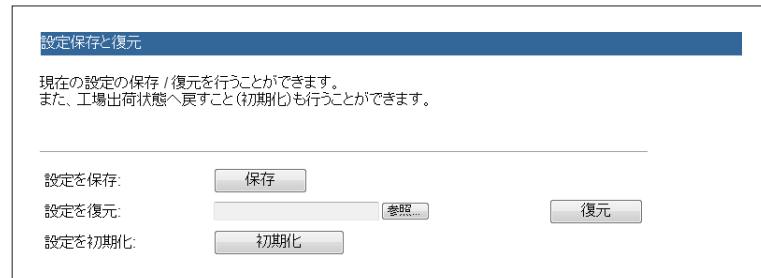
IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
DHCPサーバー	DHCP機能の状態を表示します。「有効」と表示されている場合、DHCPサーバ機能が有効になっています。
MACアドレス	本製品のWAN側のMACアドレスを表示します。

設定保存と復元 画面

本製品の設定情報をファイルとして保存できます。保存したファイルを読み込むことで、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。また、本製品の設定内容を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[システム設定]→[設定保存と読み込み]を選択します。



設定の保存方法

設定を保存:

- ① をクリックします。
- ② 〈ファイルのダウンロード〉画面が表示されますので、 をクリックします。
- ③ 〈名前を付けて保存〉画面が表示されますので、ファイルの保存場所を指定し、 をクリックします。指定した場所に「config.bin」ファイルが保存されます。
- ④ 〈ダウンロードの完了〉画面が表示されますので、 をクリックします。〈設定保存と復元〉画面に戻ります。

設定の読み込み方法

- ① 「設定を復元」の「参照」をクリックします。
- ② 〈アップロードするファイルの選択〉画面が表示されますので、設定ファイルを指定します。
- ③ 「復元」をクリックします。
- ④ 「設定の読み込みに成功しました。」と表示されます。「戻る」をクリックします。

設定を初期化する(工場出荷時の状態に戻す)

- ① 「設定を初期化」の「初期化」をクリックします。
- ② 工場出荷時の状態に戻してよいか、確認のメッセージが表示されますので「OK」をクリックします。
- ③ しばらくすると「初期化に成功しました。」と表示されます。

パスワード設定 画面

本製品の設定ユーティリティにログインするため、ユーザー名とパスワードを設定/変更します。

画面左のメニューリストから[システム設定]→[パスワード設定]を選択します。



●パスワードの変更をお勧めします

設定ユーティリティへのパスワードが初期値のままだと、各種設定情報を自由に閲覧したり、パスワードを変更したりすることができます。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお勧めします。

●変更後のユーザー名とパスワードを忘れないでください

変更後のユーザー名とパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

設定の手順

- ① 「新ユーザー名」に、新しく設定するユーザー名を入力します。
- ② 「新パスワード」に、新しく設定するパスワードを入力します。
- ③ 「新パスワードの確認」に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
- ④ 「適用」をクリックします。認証画面が表示されます。
- ⑤ 新しく設定したユーザー名とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。
 - ・〈ステータス〉画面が表示されます。

7 ファームウェアのアップデート

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることができます。ファームウェアをアップデートすることで、本製品を最新の状態にすることができるので、新しい機能を追加したり、操作を改善することができます。ファームウェアのアップデートの方法は2種類あります。

ファームウェアは、弊社Webサイトのサポートページよりダウンロードできます。

自動更新	弊社Webサイト上に最新のファームウェアがあると、検知から24時間後または設定した時刻に、自動的にアップデートします。
手動更新	オンラインまたはダウンロードしたbinファイルを使って、設定ユーティリティの「手動更新(アップデート)」機能による更新ができます。



注意

- ファームウェアのダウンロードとアップデートは、必ずパソコンでおこなってください。家庭用ゲーム機などからは更新できません。
- パソコンと本製品のLANポートを有線LANで接続した状態で、ダウンロードとアップデートをおこなってください。パソコンはIPアドレスを自動取得できるように設定しておいてください。
- アップデートするファームウェアは、必ず本製品のものを使用してください。本製品以外のファームウェアを使ってアップデートすると、本製品が故障する恐れがあります。

最新ファームウェアの自動更新機能

本製品にはファームウェアを自動的に更新できる「フォームウェアの自動更新機能」があります。エレコム・ホームページ上に最新のファームウェアがある場合、検知から24時間後または設定した時刻に、本製品は自動的にファームウェアをアップデートするようになります。これにより、常に最新の状態で本製品をご使用いただけれるようになります。



アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

ファームウェアを自動更新するには、〈自動更新(アップデート)〉画面で自動更新を有効にしておく必要があります。設定方法については、次ページの「ファームウェアの自動更新を有効にする」をお読みください。



- ・自動アップデートは、本製品の電源が入った状態で、インターネットに接続できる必要があります。
- ・インターネットをご使用中は、更新作業は始まりません。
- ・初期設定では、午前3時に自動的に更新します。また、自動更新の開始時間を設定することもできます。（→P74「ファームウェア自動更新の時間設定」）
- ・通知機能を設定することで、更新ファイルがある場合にブラウザによる通知を行うことができます。（→P73「ファームウェア自動更新の通知設定」）

ファームウェアの自動更新を有効にする

ファームウェア更新 自動更新(アップデート)

ファームウェアを自動的に更新する機能についての設定を行います。

・有効 : 更新ファイルがある場合、LEDランプなどによる通知を行います。
また、自動更新を行つための各種設定を行つことができます。

・無効 : 更新ファイルがある場合でも、LEDランプなどによる通知を行いません。
本管理画面の『手動アップデート』設定より、ファームウェアの更新(アップデート)を行つことができます。

有効 無効

適用

- ① 画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[自動更新(アップデート)]を選択します。
 - ② [有効]を選択し、[適用]をクリックします。
 - ③ 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。[更新]をクリックします。
- ・しばらくすると、〈ステータス〉画面が表示されます。

ファームウェア自動更新の通知設定

エレコム・ホームページ上に最新のファームウェアがある場合、ご使用のインターネットブラウザを開いたときに、通知する/しないを設定することができます。

[有効]を選択すると、ファームウェアをアップデートするか案内の画面が表示されます。画面のメッセージに従つて操作することで、ファームウェアのアップデートを行うことができます。

[無効]を選択すると、ブラウザによる通知画面が表示されず、自動的にアップデートを行います。

ファームウェア更新 自動更新(アップデート)通知設定

更新ファイルがある場合、ブラウザを開いた時に通知を行ふかどうかを設定します。

・有効: ブラウザによる通知を行います。
通知メッセージに従い操作することで、ファームウェアのアップデートを行うことができます。

・無効: ブラウザによる通知を行はず、自動的にファームウェアアップデートを行います。
ファームウェアアップデート中には、通知LEDランプが自動的に点滅しますが、この時、ルータの電源を絶対にOFFしないでください。

有効 無効

適用



アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

- ① 画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[自動更新(アップデート)]→[通知設定]を選択します。
 - ② [有効]または[無効]を選択し、[適用]をクリックします。
 - ③ 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。[更新]をクリックします。
- ・しばらくすると、〈ステータス〉画面が表示されます。

ファームウェア自動更新の時間設定

「ファームウェアの自動更新の通知設定」を[無効]に設定した時は、エレコム・ホームページに最新のファームウェアがある場合、午前3時(初期値:[03:00])に自動的に更新します。また、自動更新の開始時間を設定することもできます。



- ① 画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[自動更新(アップデート)]→[更新時間設定]を選択します。
 - ② 更新開始時間を選択します。初期値は[03:00(午前3時に自動更新)]です。
 - ③ [適用]をクリックします。
 - ④ 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。[更新]をクリックします。
- ・ しばらくすると、〈ステータス〉画面が表示されます。

手動でファームウェアを更新する

自動更新機能を使わずに手動でファームウェアを更新することもできます。ファームウェアをダウンロードせずにオンラインで更新する方法と、ファームウェアをダウンロードして更新する方法があります。

オンラインでの更新

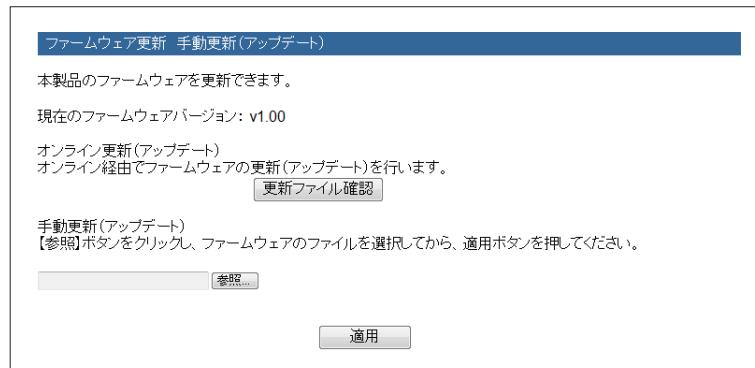
エレコム・ホームページ上にあるファームをダウンロードすることなく、オンラインで更新することができます。ファームウェアをダウンロードする必要がなく簡単に更新できます。



通信環境が悪い場合は、ファームウェアをダウンロードしてから、「手動更新(アップデート)」で更新することをお勧めします。



画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[手動更新(アップデート)]を選択します。

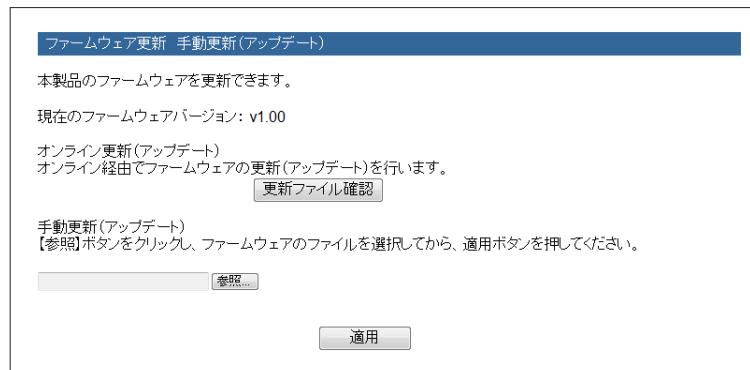


- ① [オンライン更新(アップデート)]で[更新ファイル確認]をクリックします。
- ② 最新のファームウェアがあるかメッセージが表示されます。最新ファームウェアがある場合は、[更新する]をクリックします。
 - ・ すでに最新の場合は、[戻る]をクリックします。
- ③ 案内メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。
- ④ 更新作業が始まります。更新が完了するまで、本製品の電源をオフにしないでください。
- ⑤ 正常にアップデートが完了すると、設定ユーティリティへのログイン画面が表示されます。
- ⑥ 「FWのアップデートが完了しました！！」と表示されます。Webブラウザ画面を閉じます。

ダウンロードしたファームウェアを使った更新

ダウンロードしたファームウェアを、「手動更新(アップデート)」機能を使って更新します。

画面の表示 画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[手動更新(アップデート)]を選択します。



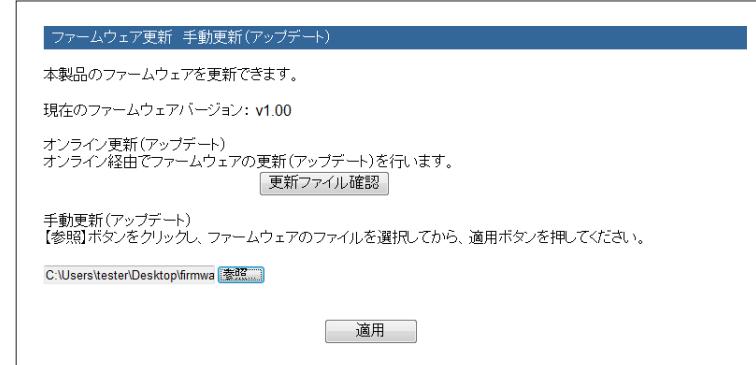
- ① パソコンと本製品を有線LANで接続します。
 - ・パソコンはIPアドレスを自動取得できるように設定しておいてください。
- ② インターネットに接続します。
- ③ エレコムWebサイト「<http://www.elecom.co.jp/>」に接続します。
- ④ [ダウンロード]をクリックします。
- ⑤ [型番で検索]で型番を入力し、[検索]をクリックします。
- ⑥ 本製品向けにダウンロード可能な内容が表示されますので、ファームウェアを選びます。
- ⑦ 説明に従ってダウンロードします。
 - ・ダウンロード前に注意事項などがないかダウンロードページでご確認ください。
 - ・ダウンロードファイルの保存場所には、デスクトップを指定してください。
- ⑧ このあと「Windowsでのアップデート手順」または「Macでのアップデート手順」をお読みください。

■Windowsでのアップデート手順



アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

- ① ダウンロードした圧縮ファイルのアイコン(電子レンジ型)をダブルクリックします。
- ② メッセージに従って解凍し、デスクトップ上に保存します。
- ③ 〈ファームウェア更新 手動更新(アップデート)〉画面で、[参照]をクリックします。
(P76「画面の表示」参照)。



- ④ 〈アップロードするファイルの選択〉画面が表示されますので、解凍したファイルを指定し、[開く]をクリックします。
- ⑤ [アップロードする]をクリックします。
- ⑥ アップデートを確認するメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。
- ⑦ 「ファームウェア更新中。」と表示され、アップデートが開始します。
 - ・アップデートが完了するまで、絶対に本製品の電源を切らないでください。
- ⑧ アップデートが完了すると「アップデートが完了しました。」と表示されます。
 - ・新しいファームウェアで動作するようになります。



エラー画面が表示された場合

本製品の電源ケーブル(ACアダプタ)を抜き差しして電源を入れ直してください。

■Macでのアップデート手順



アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

- ① ダウンロードした圧縮ファイル(ZIP 形式)を解凍します。
 - ・メッセージに従って解凍し、デスクトップ上に保存します。
 - ・ご使用の環境によっては、解凍作業が不要な場合があります。
- ② このあとは、「Windows でのアップデート手順」の手順③～⑨を実行します。

Appendix

付録編

1 サービス情報サイト使用時の設定

本製品でNTT東日本、NTT西日本のサービス情報サイトを利用する場合の設定手順を説明します。このマニュアルのP46「[PPPoE]を選択した場合」や、NTT東日本またはNTT西日本のホームページにある説明もご参照ください。

※「フレッツ・スクウェア」は、平成23年6月1日より「サービス情報サイト」に名称を変更しました。

ここでは、通常のインターネット接続で使用するアカウントを「PPPoE1」、サービス情報サイトで使用するアカウントを「PPPoE2」に登録する例を説明します。



本製品はフレッツ光ネクストのNGN IPv4サービスはサポートしておりません。接続にはBフレッツ等の設定方法を使用する必要がありますので、ご注意ください。

1 設定ユーティリティの画面左のメニューリストから[WAN&LAN設定]→[WAN設定]を選択します。(→P44「WAN設定画面」)。

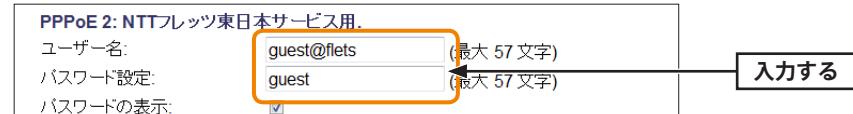
2 「WANアクセスタイル」で「PPPoEマルチセッション」を選択します。画面が2つのアカウントを登録可能な画面に切り替わります。



3 「PPPoE1」に、通常のインターネット接続で使用するアカウント(ユーザー名とパスワード)を登録します。

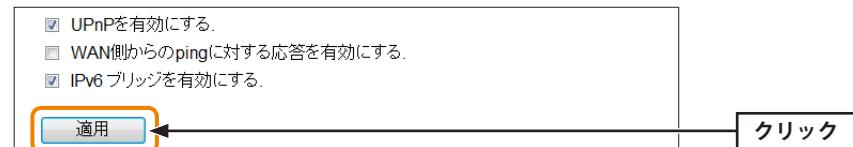


4 引き続き「PPPoE2」に、サービス情報サイトで使用するアカウントを登録します。

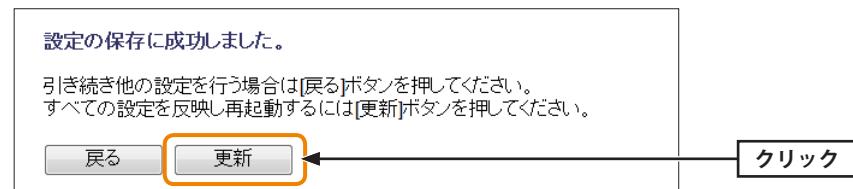


NTT東日本	ユーザー名: guest@flets	パスワード: guest
NTT西日	ユーザー名: guest	パスワード: flets

5 すべての設定が終われば、[適用]をクリックします。



6 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。[更新]をクリックします。



- 他の設定を続ける場合→[戻る]をクリックします。引き続き他の項目を設定します。
- 変更した設定を保存して有効にする場合→[更新]をクリックし、手順 7 へ進みます。

7 待ち時間が表示され、しばらくすると自動的に<ステータス>画面が表示されます。

8 ブラウザをいったん閉じます。サービス情報サイトにアクセスするには、Webブラウザのアドレス入力欄に、「http://www.flets/」と入力し、ホームページに接続します。

2 こんなときは

MEMO

付属の印刷物「かんたんセットアップガイド」の「FAQ(困ったときは)」もご参照ください。

一般的なトラブル

●インターネットに接続できない。

①TCP/IPプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。

〈ネットワーク〉画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見当たらぬ場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。

②DHCPサーバ機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割り当ててください。TCP/IPのプロパティにある<IPアドレス>タブで設定します。

③TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認してください。

プロバイダによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

④プロバイダから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。

IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

①ネットワーク設定をしましたか？

ネットワーク設定ができないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。

3 パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンのIPアドレスがどのようにになっているかを確認する方法を説明します。

ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントのIPアドレスを確認するときにも使用できます。

パソコンのIPアドレスを表示する

Windows 8.1/8の場合

①ご使用のOSのバージョンにあわせて操作します。

■Windows 8.1の場合

スタート画面の左下にある下矢印をクリックします。

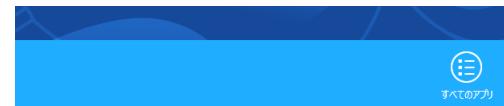


■Windows 8の場合

①スタート画面で画面の背景部分を右クリックします。

タッチパネルの場合は、画面下から内側へスワイプさせます。

②画面下に現れた「すべてのアプリ」をクリックします。



②アプリの一覧から[コマンドプロンプト]をクリックします。



- ③ <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
Microsoft Windows [version 6.2.9200]
(c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\$Users\$Master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ④ 「イーサネット アダプター イーサネット*」の「IPv4 アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxxは任意の数字)。

イーサネット アダプター イーサネット:

```
接続固有の DNS サフィックス . . . . . : 
IPv6 アドレス . . . . . : 0000:a000:00e0:0:200c:af00:0000:0000
一時 IPv6 アドレス. . . . . : 0000:a000:00e0:0:200c:af00:aa0:0000
リンクローカル IPv6 アドレス. . . . . : fe00::2000:af00:900d:0000%12
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.2.101
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : fe00::200:a2f0:fe0d:ab0e%12
192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ④ 本製品を工場出荷状態(初期値)で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P86「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

Windows 7/Vista の場合

※画面はWindows Vistaの例です。

- ① [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。

- ② <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.6000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\$Users\$master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネット アダプタ ローカル エリア接続*」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxxは任意の数字)。

イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:

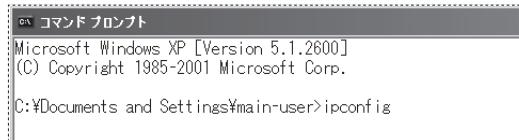
```
接続固有の DNS サフィックス . . . . . : 
リンクローカル IPv6 アドレス. . . . . : fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.2.100
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ④ 本製品を工場出荷状態(初期値)で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P86「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

Windows XP/2000の場合

- ① [スタート]→[(すべての) プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。
- ② 〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。



```
0% コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\$Documents and Settings\$main-user> ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネット アダプタ ローカル エリア接続*」の「IP Address」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxxは任意の数字)。



```
Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

Connection-specific DNS Suffix . :
IP Address. . . . . : 192.168.1.145
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
Default Gateway . . . . . : 192.168.1.254
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ④ 本製品を工場出荷状態(初期値)で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P86「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

工場出荷時での表示結果

本製品から正常にIPアドレスが割り当てられていると、各パソコンのIPアドレスは「192.168.2.xxx」と表示されます。「xxx」は任意の数字(初期値:100~200のいずれか)です。またサブネットマスクが「255.255.255.0」、デフォルトゲートウェイが「192.168.2.1」と表記されていれば、本製品と正常に接続されています。

4 基本仕様

WAN/有線LAN部

規格	IEEE802.3u (100BASE-TX) / IEEE802.3 (10BASE-T)
コネクタ	WAN: RJ-45 × 1ポート、LAN: RJ-45 × 4ポート
Auto MDI/MDIX	対応
オートネゴシエーション	対応

ルータ、その他一般仕様

ルーティング対応プロトコル	TCP/IP
インターネット(WAN)接続方式	PPPoE認証接続(2セッション)、IPアドレス自動取得接続、IPアドレス固定接続
LAN接続方式設定	DHCPサーバ(有効/無効)、固定IPアドレス(手動設定)
セキュリティ	MACアドレスフィルタリング(許可/拒否)、IPアドレスフィルタリング(許可/拒否)
ローカルサーバ機能	ポートフォワーディング、仮想DMZ
ダイナミックDNS(DDNS)	クリアネット(ロジテック無料提供サービス)、DynDNS等
消費電力(定格)	0.7W
外形寸法	幅107×奥行72×高さ25mm
質量	約86g (ACアダプタは含まず)

ELECOM